

資源とごみの分別やし方の確認を

HPで詳しく

① びん・缶・ペットボトルは資源として出しましょう

びん・缶・ペットボトルは大切な資源です。使用後は「袋から出す」「静かに出す」などのルールやマナーを守って、びん・缶・ペットボトル集積所へ。

ペットボトルリサイクルのルール

- ・軽くすすぐ
- ・キャップとラベルを外す
- ・つぶす

☆区内16か所のスーパーに設置したペットボトル自動回収機もご利用を。設置場所などについて詳しくは、区HPをご覧ください



▲キャップとラベルは「プラスチック製容器包装」の回収へ

② 古紙、古着・古布は集団回収に出せます

多くの地域で、町会・自治会などが集団回収を行っています(古着・古布は一部地域を除く)。集団回収集積場所に出してください。

☆古着・古布はリサイクル展示室でも回収。回収日・実施地域などについて詳しくは、区HPをご覧ください。資源回収推進係へ問い合わせを



▲区HP



▲古着・古布は必ず晴れた日に出してください

③ プラスチック製容器包装も資源です

プラスチック製容器包装とは、入れ物や包み、袋として使われているプラスチックやビニールのこと。

水で軽くすすいで汚れを落としごみ集積所へ。パックやラップについたシールもそのまま出せます。

☆汚れが落ちないものは燃やすごみへ



▲プラマークが目印



ふたのできる容器か中身の見える透明・半透明の袋に入れます。袋は二重にしないでください▶

④ ライターやスプレー缶などをゴミに出す場合は別袋で

ライター、スプレー缶、カセットボンベなどは、他のごみと一緒に出すと、清掃車やごみ処理施設の火災の原因になります。

また、水銀式の体温計や血圧計など、水銀を多量に含むごみが清掃工場で焼却処理されると、排出ガスの水銀濃度が規制値を超え、焼却炉を停止しなければなりません。

これらのごみを出す場合は、他のごみとは別の袋に入れ、中身が何かを明記して「陶器・ガラス・金属ごみ」の日にごみ集積所へ出してください。

☆スプレー缶などに穴を開けると危険です。できるだけ中身を使い切り、穴を開けずに出してください



▲中身を明記してください

⑤ 「事業系廃棄物排出届出書」の提出はお済みですか

小規模事業者で、ごみの自己処理が困難な場合は、例外的に区のごみ収集を利用できます。その場合は、届け出が必要です。

届け出をした事業者には、事業者番号を記載した「届出済証」を郵送します。

届け出制度について詳しくは、ごみ減量推進係へ問い合わせを。

☆ごみを出す際は、袋の容量に応じた「中野区事業系有料ごみ処理券」(シール)を購入し、事業者番号と事業者名を明記の上、ごみ袋に貼ってください。購入場所は、区HPで確認を

● 問合せ先 ●

- ①② 資源回収推進係 (松が丘1-6-3リサイクル展示室内) ☎(3228)5555 FAX(3228)5634
- ③④ 清掃事務所 ☎(3387)5353 FAX(3387)5389
- ⑤ ごみ減量推進係 (リサイクル展示室内) ☎(3228)5563 FAX(3228)5634

高断熱建築物の認証制度を廃止しました

環境・緑化推進係/8階 ☎(3228)5554 FAX(3228)5673

認証を受けた方になかのエコポイント5,000ポイントを交付する「中野区高断熱建築物認証制度」。この制度を、高断熱窓・ドアの設置費用助成の開始等に伴い、廃止しました。

なお、昨年度中に認定された建築物のみ、認定等の日から1年以内に限り申請できます。

詳しくは、区HPをご覧ください。環境・緑化推進係へ問い合わせを。



▲区HP

5月1日
~31日

自転車安全利用 TOKYO キャンペーン

生活・交通安全係/8階 ☎(3228)8886 FAX(3228)5658

区内では、自転車事故が多発しています。交通ルールを守って、安全に自転車を利用しましょう。

5月4日(水・祝) タイムズ中野区役所駐車場は臨時休業します

庁舎管理係/4階 ☎(3228)8854 FAX(3228)5643

繁殖期の

カラスからの被害を防ぐために

カラスは、3月~6月ごろに繁殖期を迎えます。卵やヒナを守ろうとして警戒心が強まるため、人を攻撃することがあります。カラスの習性を知り、寄せ付けない対策を取りましょう。

衛生環境係(中野区保健所) ☎(3382)6662 FAX(3382)6667

巣の近くを通らない

鳴きながら飛び回る、木の枝をつついて大きな音を出すなどの行動は、巣を守るための威嚇です。背後から飛んで来て、人の後頭部を蹴るなどの攻撃をすることも。

そのようなカラスがいる場所には巣があります。なるべく通らないようにしましょう。☆やむを得ない場合は、帽子や傘などで防御を

◀ハンガーなどで巧みに作られた巣

巣作りの材料を与えない

都会のカラスの巣は、主に針金ハンガーで作られます。ハンガーは物干しざおなどに固定し、洗濯物と一緒に取り込みましょう。また、葉や枝が多い樹木は定期的に枝切りをしましょう。



餌になるものを与えない

容器に付着したままのマヨネーズなど、油分の多いものはカラスの大好物。カラスは嗅覚が弱い反面、視力が非常に優れています。残飯は、目に付かないよう新聞紙などで包んでからごみ袋に入れ、容器類は、資源回収に出す前に必ず洗きましょう。また、ごみ集積所では、防鳥用ネットを確実にごみ袋に掛けてください。

☆防鳥用ネットの貸し出しについて詳しくは、清掃事務所☎(3387)5353・FAX(3387)5389へ問い合わせを



落ちたヒナには近付かない

5月~6月は、ヒナの巣立ちの時期です。翼の力が弱くと地面に落ちてしまうことも。人が近付くと、親ガラスが攻撃してきます。

ヒナが落ちていても近付かず、衛生環境係に連絡を。専門業者に捕獲を依頼するなど対応します。